

メディカルデータサイエンス

Newsletter

Vol.22-23号(2023.2-2023.3)

メディカルデータサイエンス・プロジェクトとは？

わが国の臨床情勢の特徴を最大限活かし、世界に通用する臨床研究を日本から発信するプロジェクトです。統計手法や解析例を積極的に臨床研究に導入し、Core Clinical Journal や Impact Factor 10.0 以上の High impact factor journals の採択を目指します。様々な臨床科を越えて、発足から3年間で70篇以上の原著論文を支援しました。4年目の今期も更なる発展を目指し発足しました。

現在、新規論文支援・共同研究を募集中です。

メディカルデータサイエンス・プロジェクト オンライン symposium2023 の開催が決定されました。

昨年度に引き続き3回目は、“これまでの成果と今後の展開”をテーマに、2023年2月16日に開催されます。当日は、メディカルデータの活用や、医療産業におけるデータサイエンスの位置づけ・将来の担い手の育成などを第一線の講師の先生方と共にディスカッションを進めていく予定です。応募方法はHPと右のチラシなどで近日公開される予定です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

昨年度シンポジウム参加者の声（一部抜粋）

- “大変勉強になりました。特に、臨床研究の今後のあり方について理解が深まりました” (大学職員)
- “今後、リアルワールド・データを活用できる仕組みが構築される事に期待したいと思います” (製薬企業・研究職)
- “(保健医療分野におけるデータサイエンスは)、がもっと進んでほしいと思った。医療技術の発展・開発について、これからも色々な意見が聞ければと思いました。” (大学院生)

メディカルデータ・サイエンス研究セミナー

メディカルデータ・サイエンスの研究教育拠点形成
—これまでの成果と今後の展開—

近年ますます注目されている医療分野におけるデータ・サイエンスの分野で第一線で活躍する研究者・実務家を招き、大阪大学におけるメディカルデータの活用例や、医療産業におけるデータ・サイエンスの位置づけを紹介し、産学のデータ・サイエンスの推進並びにその担い手の育成をテーマにしたシンポジウムです。

開催日時：2023年2月16日(木) 14:00~17:00
会場：Webにて開催 (Cisco WebexまたはZoomを使用)

【参加方法】下記URLよりご登録ください。
<https://forms.gle/ThHSQg7wtUccAD5q7>
*詳細につきましては旧公衆衛生学のHP (<http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/>) をご参照ください。



【問合せ先】
大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学(母体) 専攻
email: rishimizu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

医学系研究科講義;応用臨床疫学が修了しました。

2018年の開講以来好評の、大学院講義応用臨床疫学の本年度の講義が無事に全日程修了しました。本年度は、北海道から沖縄まで過去最多となる計200名以上の応募がありました。本年度も頂いた、ご意見・ご感想を基に、来期もさらに充実したコースにしていきたいと思います。

過去のシラバス・講義詳細はHPにて公開中です

共同研究募集中！

メディカルデータサイエンス・プロジェクトでは、様々な最新の生物統計・ゲノム統計の手法を臨床研究に応用させ、専門分野・診療科を越えてクリニカル・クエスチョンの検討と論文執筆を支援します。

詳しくはHP : <http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/ace/>

お問い合わせは：r.sakaniwa@pbhel.med.osaka-u.ac.jp (担当:坂庭)まで

内線番号:3763

